京城日報　朝刊　本日朝夕刊共六頁

眞珠灣攻擊の放送に湧き立つ希望と期待

前駐英代理大使 上村伸一氏手記

大いなる歴史の朝

敵國英京で胸懐ふ感激

【東京電話】日本國民ならば誰が忘れ得ようか『あの日の感激』……全國民が精魂の限りをつくして宿怨重なる討米英の征戰を決行したあの日の感激……昭和十六年十二月八日！この日この時日本國民が世界に正義の新なる歴史を創造すべく擧げられた東亞諸民族の解放に蹶然と起つたのだ、正義の歴史が開けた朝あの十二月八日の大いなる朝は一年前の東亞の相貌を一變、偉大なる日本の國力を具現しつつ今再び廻り來つた、長くも米英に對する宣戰の大詔が渙發された、この朝の感激を日本民族は永久に忘れ得ないであらう、われ〳〵はあの日の感激を通じ遠く海外敵國に使して大命の遂行をつづけた在外使臣らをはじめ感激にむせぶ人々に聞かう、まづあの日英京ロンドンにあつて重光大使歸朝後代理大使として活躍した現外務省政務局長上村伸一氏の手記に見る生々しい當時の狀況【寫眞＝上村伸一氏】

時差の關係でわれ〳〵イギリスにあつたものが日米開戰を知つたのは十二月七日であつた、その日午後九時ロンドンの放送局は日本空軍が眞珠灣攻擊中なりといふニユースを放送した、日米間の戰爭は豫期してゐたのだが戰端がハワイ攻擊によつて開始されようとは夢にも思つてゐなかつた、しかしながら『ハワイを攻擊するなら』と希望と期待に胸中が痛くなるのを覺えた、週末まで田舍にゐた自分は直ちに大使館事務所に急いだ、稀にみる月のよい晩でロンドンに映る月夜の美しさは眞珠灣攻擊とともに忘れ得ない記憶となろう、翌早朝までに館員は全部事務所に集合、かねてそれ〳〵一切の整理を終つてゐたのだ、何時でも開城の出來るやう最後の準備を整へたのである、この時の館員の沈着敏速な行動は日本精神の自然の發露として誇らしいものであつた、しかしながら結局われ〳〵は事務所に籠城することになつて各自は折角まとめたトランクをあけて少しでも暮し易いやう工夫することになつた、大詔を拜したのは九日のデーリーテレグラフ紙上であつた、同紙は同時にアメリカに對する帝國の最後通牒を掲載した、帝國の堂々たる正義の聲に恐れて情報省が他紙への掲載を禁止したのか常にこの種の文書を掲載するタイムス紙にも一切掲載されてゐなかつた、戰況は刻々知り得た、特別攻擊隊の悲壯鬼神を哭かしむる行動もアメリカ海軍の大損失も直ぐ知り得た、プリンス・オブ・ウエールズ號及びレパルス號二戰艦の擊沈もシンガポールの陷落、ジヤワ沖海戰などそれに引續く蘭印諸島の陷落、ビルマの占領も新聞とラジオで直ぐ報道された、そしてから打ちつづく戰鬪中に發揮されたわが陸海軍將兵の忠勇と武士道とはイギリス紙も賞讚する有樣で過去數年間にわたつて逆宣傳を事としたイギリス紙によつて不快を重ね來つたのが、戰爭になつて逆に褒められるといふやうな立場に置かれた、しかしながらイギリス政府は國民の日本人に對する敵愾心と憎惡とを煽る必要を感じてイーデン外相をして捏造香港殘虐事件なるものを議會に發表せしめたのであつた、ただでさへ不自由なわれわれの籠城戰はその爲一層困難を增したのであつた、後にはこの香港殘虐事件の宣傳は一萬の捕虜父兄妻子に與へた影響の大きかつたとから漸次眞相を發表してその緩和を行つた、われ〳〵の困難の加重はともかく、大使館との連絡を絕たれてマン島に監禁された在留邦人の困難は自治領および印度に監禁された邦人の忍苦に對しては同情の言葉もない、しかしながらイギリス政府はビルマ失陷の頃までには從來の戰爭遂行努力に一層の拍車をかけ香港殘虐事件の宣傳は緩和してもその戰爭努力はます〳〵これを加重して行つたのであつた、街には軍服にあらざるイギリス壯丁の姿を見ることが出來なくなつたのみならず男子勞働力の完全動員ののちには女子の勞働力をも動員して行つたのである、爾廿歲以上…寫眞機、双眼鏡、時計、ラジオ、電氣蓄音器はもちろん、石鹸容器や安全剃刀の刃までが消えて行つた、工業學校の如きは廿四時間制で熟練工や技師の養成を行つてをり、耕作地面積は平案の八百五十萬エーカーが現在一千四百萬エーカーに增大され、前大戰中に比較しても二百萬エーカーの增加であつて、これには軍隊式の女子農業軍凡そ五萬人が生産に當つてゐる、國民の消費節約も徹底的に行はれ、廢品回收も徹底してをりアメリカからの軍需品輸入の船腹節約に貢獻してゐる、全國にわたる貯蓄運動も盛んに行はれあるひは軍艦週間あるひは武器週間と稱してお祭り騷ぎの貯蓄運動ながら成績を收めてゐる、以上の如き戰爭遂行努力があつてはじめてイギリスが今日北阿へ進攻も出來たのであると思はれる、これは二年半以前のフランダース戰線敗退當時あるひはロンドン猛爆當時さらに近くはシンガポール失陷當時のイギリスと比較して見る時亡國の道を辿るイギリスとはいへ打倒は容易ならざる事業なりと覺悟せねばならぬ、われ〳〵は安價な勝利感に醉つてはならぬ、われ〳〵は血肉をもつて獲得したこの勝利を眞にわが物として大東亞共榮圈を建設するためにはわれ〳〵は一層の犧牲を拂はねばならぬ、英米の再侵略の魔手を打拂ふのみならずさらに米英を再起不能となすの覺悟が必要である

英打倒安易ならず

必死の努力を傾けよ

偶々戰火が小熄みになつたとかあるひはまた空爆がないからといつて安心してゐる時ではない、敵はわれ〳〵の心の隙を窺つてゐるのだ、御稜威のもと恙なく生きて再び故國に歸つたわれわれは日章旗をロレンソ・マルケス港中の龍田丸に眺め新生命の躍動する昭南港に眺めて幾度か感激に目をうるませたがわれ〳〵は前記の如きイギリスの覺悟を回想する時今後血涙を流しても戰爭完遂のため必死の努力をなさねばならぬのである

敵司令部を包圍猛攻

洪澤湖の殘敵潰滅に瀕す

【洪澤湖〇〇前線廿五日同盟】本據半城を一夜にして奪はれた敵第四師は支離滅裂となつてわが部隊の急追に潰滅されつつあるが、すでに西岸部隊は廿五日進河流域の線を確保し洪澤湖中心に半円を描いて各所に殘敵を急追しつゝ湖西地區の掃蕩をつづけてゐる、わが急追のため行方不明を傳へられた第四師長彭雪楓は半城失陷の混亂のうちに部下僅か二百とともに命から〴〵湖東地區の第二師陣營内に逃げ込んだことが判明、すでに東岸部隊の東北よりする猛擊によつて張雲逸麾下の第二師もまた潰滅に瀕しゐる

【洪澤湖〇〇前線廿五日同盟】洪澤湖一帶に展開された新四軍剿滅作戰は廿三日に入りいよ〳〵熾烈を極め洪澤湖兩岸のわが部隊は空軍部隊と協力し新四軍第二師（師長張雲逸）を白馬湖の濕地帶に追ひ込み〇〇河を下つた東岸進擊部隊は二十四日早くも〇河鎭の敵司令部を完全に包圍し猛擊を開始した

米空軍廣東に侵入

【廣東廿五日同盟】わが完膚なき迄の果敢な出擊に大打擊を被り久しく鳴を鎭めてゐた米空軍は再び卑劣な空中ゲリラ戰を企圖し廿四日午後二時過ぎ廣東上空に侵入し來つたがわが空陸よりする猛烈な反擊により忽ちカーチスP四〇型一機を擊墜され、持ち來つた爆彈は郊外の山野に投下倉皇として遁走し去つた、右に關し南支軍より左の如く發表された

南支軍發表（廿五日午後三時）十一月廿四日十四時廿分ごろノースアメリカンB二五型四機及びカーチスP四〇型三機の敵機は廣東上空に出現し超高度より爆彈十數發を投下し北方に遁走せり、わが空軍及び地上部隊は直ちに之を邀擊してカーチスP四〇型一機を確實に擊墜せり

擊墜機は米の最新銳機

【廣東廿五日同盟】廿四日空中ゲリラ戰を企圖して廣東上空に侵入したアメリカ空軍戰爆連合の七機はわが航空部隊および地上砲火になすところもなく遁退されたが、うちカーチスP四〇型一機はわが砲火の餌食となり〇〇附近に墜退された、この戰鬪は高射砲隊によるものと思はれるが、地上部隊は空中部隊の戰果であると稱し航空部隊はあくまでも地上部隊に功を譲り當時の狀況としてはどちらとも判斷されぬので地上、空の麗しい共同戰果となつた、同機は墜落に際し片翼を…

大東亞戰爭一周年記念事業

開戰一周年記念展覽會

…ら十一日まで記念日…令部、海軍武官府、總力聯盟後援の下に三越四階の催場で開催、圖表、寫眞、統計などによつて累日交渉から說き起し、眞珠灣頭に華と散つた九軍神の勳しを讃へ、大地圖は占領地、爆擊地を一目瞭然の大海戰、さては北方儼然たる皇軍の護り、その他滿洲國の近況や銃後縮刷版など詳細に展示する

米英擊滅漫畫展覽會

十二月五日から十一日まで京…朝鮮漫畫家協會會員の手にな…作漫畫四十九點を展示し、米英擊滅、銃後明朗への彩管報國の熱意をみなぎらせる。

記念講演と映畫會

大東亞戰爭一周年記念講演…主催、總力聯盟、映畫配給…で七日と九日の二日に亘つて催される。第一日の七日は午後六時半開會、京城師團江上守彥中佐の…ス、漫畫、空の神兵、マレー戰記を上映。九日も午後六時半から開會、京城在勤海軍武官府武市…ユース、漫畫、勝利の基礎、帝國陸軍勝利の記錄を上映する。

軍神生家訪問學童使節派遣

日本精神は日本の國土に…身をもつてわれ〳〵に見…それらの英魂はどんな郷土に育ち、少年時代をどのやうな家庭に過したか。全鮮から選ばれた學童…班に分ち横山正治、古野繁實兩少佐らの軍神の生家を訪問。十一月廿八日午前十一時五十五分京城…訪問のほか宮崎八幡宮、宮崎神宮に參拜、また江田島海軍兵學校、松下村塾を訪れ九日の旅を終へ十…

歸還報告會

かくて使節團一行は府民館大講堂における歸還報告會に臨む。第一日…州班の報告についで音樂、舞踊、映畫があり、第二日の九日も午後…のゝち音樂、舞踊、映畫が催される。

京城日報社

大東亞戰一周年 戰爭日誌（上）

十六年十二月

八日　日米英開戰、…

完勝戰略態勢整ふ

征戰半歲 敵包圍陣潰滅

十七年一月

二月

三月

四月

五月

社說 知識人と今日の問題

一

大東亞戰爭一周年も近づき、國內諸態勢いづれも一入の緊張を加へ來つたことは、もとより當然のことであるが、わけてもその思想分野における强力なる統制には、更に一段の飛躍を期待されるものがある。既にして南太平洋に展開され、また現に繼續中なる諸海戰に見ても知らるる通り、少くとも米國のみを對象とせる大東亞戰爭の相貌が明に長期戰的性格を現はし來つたことは見逃し得ざるところであつて、これが、軍事的、經濟的對策は軍部及び政府の施策に信頼して邁進へなしとするも、思想的一翼に至つては、むしろ民間知識人の奮起に俟つところ大なるを考へねばならない。

二

然も、その思想的分野なることは、必ずしも防諜乃至防共と結びつけるまでもなく、更に廣義なる國民の抗戰意識にまで誘掖すべきであり、今次戰爭の勝敗の分岐が、即ち日本民族乃至は大東亞諸國民の興廢に關するものであることに徹すれば、徒らなる偸安に終始すべきでないことは自明の理である。吾人が今にしてこの言をなすは開戰當初の緊張が、打ちつゞく勝戰の報に氣弛み、心傲つて、やゝもすれば弛緩され勝ちなる世相の幾つかを目擊するからであつて、斯くては大東亞の盟主として起つべき日本の運命が、必ずしも安穩なるべきでないことを恐れるからである。

三

去る日、東京に開かれたる大東亞文學者大會の成果については、今直に指摘すべきでないかも知れないが、從來兎角に自由主義的雰圍氣に閉ぢ籠つて、時勢に無關心なるかに見られたる文人が、然も各國互に膝を交へて論議したるところ、一に米英の物質文化を驅逐して、東亞の精神文化宣揚のことに目的を同じうしたる氣概を考へれば、それを單なる文學部面のことのみと斷ずることなく、文學人にしてなほかつ然る時の情勢を察知すべきであり、指導性、啓化性の豊かなるべき日本の文化人、知識人は競つて國民の參戰目的遂行に對し、職域を擧げて盡すべきであることを銘記せねばならぬ。

四

世には往々にして、戰爭は文化を破壞するものであるかの如く錯覺してゐる者もあるが、誤れるも甚だしといふべきであつて、文化が絢爛爛熟の結實をするのは平時であるとしても、その逞しき瑞目の發足が、常に必ず戰時に芽生えてゐることは歷史の證するところであり、例へば言葉は些か奇矯であるが、戰業文化乃至生產文化といふが如き部面に於ける生成發展の樣相は、現に日本が戰爭以來顯現し來れる文化の强靭性を示してゐるではないか。即ち文化は生活であり、戰時文化はまた戰時生活であることを認識し、一切のことを擧げて『戰時的』なる敵愾心の培養と、それに勝ち拔くための戰鬪的道義の昂揚は、まさしく文化人、知識人に課せられたる今日の問題であることを忘れてはならぬ。

法律案五十件 直ちに法文化へ
法制局を中心に三方針に基き 議會提出の準備急ぐ

【東京電話】法制局では二十日および二十四日の閣議において決定した議會提出法律案要綱五十件の通牒を受けたので直ちにこれが法文化に着手することゝなつたが法文化に當つては

一、法制局自身において要綱の趣旨に則り全文案を作成するもの

二、各省より資料および意見の提示を求めてこれに準據し法文化するもの

三、關係省にて法律案文を作成し法制局ではその條文調整のみを行ふもの

の三種類があげられ、そのうち法制局自體に於て全文案を作成するものは直ちにその立案に着手し、また各省より資料及び案文の提示を要するものはこれを督促して全法案の法文化を急ぐことになつた、また法律案の閣議決定は十二月廿日をもつて最終期限としてゐるが法制局にて法文決定せるものは逐次閣議に上程これを決定するわけで特に樞密院に御諮詢奏請を要する法案は出來るだけ優先的に立案閣議に附議することになつた

不要法律の廢、停止
行政簡素化に關する法律案 要綱決定

【東京電話】政府は今議會に行政簡素化に關する法律案ならびに不要法律の廢止または停止に關する法律案を提出することになり、二十四日の閣議においてその要綱を決定し、戰爭に對應する敏速的確な事務處理を期してゐる、行政簡素化に關する法律案は許可、認可など行政事務を簡素化するために法律の公布によらねばならぬものがあるためこの立法を見たのであるが、その運用においては勅令に委任し勅令の公布により行政事務簡素化の實をあげんとする委任立法である、また不要法律の廢止または停止に關しては現存の法律中すでに立法當時の使命を全く果したもの或は有名無實化したもの、あるひは諸法律が形式的に存續してゐるため行政事務の敏速なる處理を阻害してゐるものなどの法律につき整理を斷行せんとするもので、今のところ厚生年金特別會計法ほか三件があげられてゐるがなほ數件を增する模樣である、しかして昭和十二年公布を見た輸出入品など臨時措置法はその後國家總動員法の公布により事實上使命を終つたものとして總動員法に振替へ臨時措置法を廢止すべしとの意見も行はれたが今回はその手續きをとらぬこととなつた、なほ不要法律の廢止と併行して勅令、省令などの命令中不要に屬したものもこの際併せて廢止することゝなり議會開會前にその措置をとることとし目下法制局において檢討中であるが、過般翼政會より政府に提出された行政事務簡素

企業許可令が首位を占む
十月中全鮮商工相談概況

中央商工相談所調査＝十月中における全鮮各地商工相談所の事業取扱ひ概況は、總取扱件數七千七百廿二件にして前月に比し七十三件の增加を示し四月以降の累計は四萬八千八百七十二件に達した 相談事項の內譯をみると依然として企業許可令に關する相談事項が首位を占め、次で價格統制、轉失業、內國取引紹介斡旋、組合創立および運營に關する相談の順位となつてをり統制經濟下における商工業界の實相を如實に反映してゐる、取扱件數內譯左の通り

企業許可二九〇一件▲價格統制一〇七四件▲轉失業七〇二件▲內國取引紹介斡旋六九四件▲組合創立及運營六二四件▲關稅三四七件▲物資統制三三七件▲金融一六七件▲企業經營二九九件

滿洲國 華北へ答禮使節

【新京廿五日同盟】滿洲國政府はさきの華北政務委員會委員長王揖唐氏の來滿に應へその答禮使節派遣は邢治安部大臣を政府代表として派遣することになつたが、廿五日滿洲國政府はこれにつき左の如く發表した

滿洲國政府發表 滿洲國政府はさきに建國十周年を慶祝し、來訪せる王揖唐華北政務委員會委員長の正式訪滿に應へ邢士廉治安部大臣を政府代表として派遣せしむることになり邢代表は隨員九名を從へ廿四日新京發、廿七日北京に到着せり

繊維奢侈品 最後の特免認定

奢侈品禁止令による製造禁止繊維製品の京城府內における業者在庫品については、京城繊維統制協力會において昭和十五年十月以降十六年十月迄の間に前後卅回に亘つて認定のうへ特免品として販賣を許可したが、なほ査定洩れ在庫品が二千點（價格三萬円）あるので來る廿七日京城商工會議所において最後の認定委員會を開き特免販賣を許可することになつた

支那事變 海軍第廿八回 論功行賞
破格、廿一名に功五 五百六十七名に恩命

【東京電話】長き遡りでは二十六日支那事變死歿者海軍關係第二十八回論功行賞の御沙汰あらせられ同日午前海軍省ならびに賞勳局より發表された、今回行賞の恩命に浴したものは昭和十五年四月二十九日以降昭和十六年十二月七日大東亞戰爭勃發までの間に支那事變勤務に從事し、戰傷病死、殉職、公務傷病死などにより護國の英靈と化したる勇士で奧島章三郎大佐以下五百六十七名であつて、昭和十六年四月より八月の間において四川、甘肅、青海などの大陸奧地の航空基地連續空襲に拔群の功績を樹てた山內飛行兵曹長などを初め同十六年十一月南支方面の敵空軍基地攻擊の際に戰死した佃飛行兵曹長など、また中南支各地に奮戰した陸戰隊の戰死者、あるひは過ぐる昭和十五年八月廿九日東京灣南方洋上において風濤を冒し訓練中行方不明となつた伊號六七潛水艦乘組の潛水隊司令奧島章三郎、艦長大畑正両大佐以下の潛水艦勇士および海軍傳統の猛訓練に尊い犧牲となつた飛行機乘員など多數含まれてゐる、右のうち渡邊廣佐特務少尉など廿一名は何れも功五の破格の恩命に浴した

破格の恩命に浴した勇士

功五旭六 賜金 特務少尉 渡邊 廣佐 橫須

橫鎭關係

功五賜金 一空曹 菊池隆造 岩手
同 旭七 賜金 一空曹 鈴木 正 神奈
同 賜金 一空曹 坂本三男 茨城
同 旭六 賜金 飛曹長 山內 俊夫 福島
同 同 賜金 橫山 勝雄 仙台
同 同 賜金 整曹長 堀井 正元 埼玉
同 同 賜金 飛曹長 武川 繁志 北海
同 旭七 賜金 一整曹 小口 增美 松本
同 旭七 賜金 二飛曹 金澤 芳秋 福島

吳鎭關係

功五旭六 賜金 空曹長 川西 光雄 山口
同 賜金 一空曹 梶 信義 大阪
同 旭七 賜金 二飛曹 藤本 政雄 山口
同 旭六 賜金 飛曹長 佃 光男 廣島
同 旭七 賜金 二飛曹 牧野 文雄 和歌

佐鎭關係

功五旭六 賜金 空曹長 森下 武 香川
同 賜金 整曹長 小川鐵馬 熊本
同 旭七 賜金 二飛曹 福原 富一 鹿兒
同 旭六 賜金 飛曹長 光增 政之 佐賀
同 旭七 賜金 一整曹 安樂 禎 鹿兒

舞鎭關係

功五旭六 賜金 整曹長 高橋 芳夫 新潟

一般殊勳者（佐官以上）

賜金 大佐 奧島章三郎 愛媛
同 大佐 大畑 正 福井
同 中佐 田中 忠政 廣島
同 中佐 廣川 隆 佐賀
瑞四賜金 機關中佐 增田丹三 熊本
賜金 少佐 今井 恒夫 佐世
瑞五賜金 少佐 元久 岩美 香川

鮮銀光州支店 明春店開き

鮮銀ではかねて全南光州に支店を設置すべく本府當局へ認可申請中のところ、このほど正式認可の指令があつた、なほ營業開始は明春となる見込み

夕刊後の市況（廿六日後場）

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
朝新	三八・三	三八・六	三八・〇
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	二四・〇	二五・八	二三・七
鐘紡	―	―	―
鐘新	八四・三	八六・〇	八四・三
高周波	五四・一	五四・五	五三・八
滿業	―	―	―
岩村	―	[illegible]	[illegible]
小林	―	―	―

大引 二・四〇分

大株短期

銘柄	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期

銘柄	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 二・一四分

銘柄	大引	高値	安値
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 二・二分

隨想錄

新嘗祭當日東條首相のなした放送の中に『我々國民は今年の豐作に醉ふことなくこれを轉機として更に戰力の增强を圖らねばならぬ▲その最も捷徑は食糧を海外に依存する現狀から脫却することであるが、これは生やさしいことではないが現在我々は乘るか反るかの大戰爭をやつてゐるのだ▲非常な決意を以て非常の措置を爲すべき秋であるから農民を初め國民全般は工夫と努力をなしこの上とも不可能を可能とする精神力を以て食糧增產に邁進』する樣に述べてゐる▲海外に食糧を仰ぐことはそれだけ此の際最も貴重な船腹を割かせることでありこの一點のみよりするも斷じて自給自足體制を整へねばならない▲日本の穀倉である朝鮮は旱害に次ぐに水害に見舞はれ平年作以下になつたことは誠に殘念であるが天災とあれば過去のことは致し方はないとして▲此の上は來年の出來秋までは假令草根木皮を食ふとも鮮內の自給自足を爲す決心が肝要である、困つた時には內地から何とかして吳れるだらうなどゝいふ依存心は今日この際綺麗に拂拭して山の幸、海の幸を求めて切り拔ける創意工夫が肝要である▲これが直接第一線に立つてゐない銃後の者の雄々しい參戰參加である。

神籬の眞義 (1)
今泉定助
宇宙經綸の第一步 神勅に拜す修理固成

國體の本義を解き、皇道の眞髓を說いて全鮮講演行脚中の今泉定助先生は去る廿三日咸興公會堂における本社主催の座談會において同地指導者層を前に來鮮初めて『神籬』の眞義について述べ多大の感銘を與へた講演は左の如くである

たゞいま府尹さんから紹介を頂きました今泉でございます。ご覽の通りの老骨で何分新知識をもつて、あなた方にお話を申上げる資格のないものであります。たゞ少しばかり古典を讀んでをりますためにたゞいま府尹さんからもお話がありましたやうに、何か一つまとまつたことを申しませう。食事中に知事閣下からも『神籬（ひもろぎ）のことなど、大體纏つたやうでありますけれどももう少し詳しく話して貰ひたい』といふお話でありました。こゝに集られた方方は指導階級ばかりでありますから、まとまつたことを申上げてみませう。

第一に『ひもろぎ』のことを申上げてみます。『ひもろぎ』は『神籬』とかういふ字を當てゝをります。どうしてかういふ『神籬』と書いたものを『ひもろぎ』と讀んでをるか。大體『ひもろぎ』といふ言葉は『靈籬る木』かういふ意味であります。いろ〳〵な學說がありますけれども、さう専門的な學說を申上げる必要はないと思ふ『ひもろぎ』は神靈の籬る木といふことであります。それで內地におきましては、奈良の山など全山を『神籬』と申しました。いま奈良の神社になつてをります山は全部を『神籬』といつた。『神籬』はすなはち御神靈の意味、今日でも御承知の方もゐられませうが、和歌山縣の那智の瀧、あの瀧の落ちてくるところを御神體といふ。瀧がやはり『神籬』なんです。神靈の籬るところはどんなものでも『神籬』といふ。本は木のことを申したのであります。

天之御中主神

それには天照大神が天岩戶へおこもりになつたといふ古い話がある。あの時には香久山の榊を用ひて、『神籬』にしてゐる。根ごとの榊一本を『神籬』としたのである。榊と申しましても、いまいふ榊であるかどうかは判りませんが、この『常緑』の意味、常磐木の意味であります。榊はもとより常磐木であります。必ずしも今いふ榊であつたか、どうかははつきりいたしませんが、現に第一本の常磐木、榊を用ひて『神籬』としたといふことが岩戶の條にあるのであります。

それから、もう少し古いところを尋ねますと、伊邪那岐、伊邪那美命が天御柱をお立てになつた。御夫婦の間に天御柱をお立てになつて宇宙全部の經營に當られた。神勅をうけて伊邪那岐、伊邪那美の二神が『修理固成』する一番初めに天御柱を立てた。

天御柱とは何であるか。宇宙の中心を決められたものである。それはすなはち天之御中主神のことをいふ。天之御中主神といふお名前も宇宙の中心である。天之御中主神の『天』とは宇宙『之』は意味のない助字『御中』は眞ん中『主』は主宰の意味であります。さうすると宇宙の眞ん中にをつて大宇宙を主宰した神であるから天之御中主神、とにかく日本の神樣のお名前はみんなその御事業によつてついてゐる。

中心から發現

神樣のお名前を分析すれば御神德御事業が出てくる譯であります。深く掘下げますと種々な議論になるのでありますけれども、一ついま申上げて置きますことは極めて簡單に『天』といふことは宇宙といふこと『御中』は眞ん中『主』といふことは主宰すること、宇宙を主宰するその靈である。天之御中主神は宇宙を發現するために現はれられた神である。かういふ意味であります。

それで、何ものでも中心から起らないものはない。形は円いばかりではない。細長いものも、三角も、六角も、八角も、渦巻きもありませう。しかし何ものでも中心のないものはない。どんなものでも必ず中心から發達する。中心なくして出來てくるものはありません。どうしてかといふと大宇宙が既にそれである。大宇宙に天之御中主神といふ大根本になる神があつて、その神から發現してこの宇宙が出來てくる。森羅萬象ことごとく、何ものでも宇宙發現の原則にそむいて出來てくるものはない宇宙から出來ないものはないのでありますから、宇宙の出來た原則をはづれて成立つてくるものはありません。動物でも、植物でも、そのほか目にみえない微物でも、そのやうな小さいものでも、また大きな天體の如き、地球の如きものでも必ず中心から成長發達してこないものはないはずであります。大宇宙を發現した天之御中主神がその原則を作つてゐるのであります。宇宙の中へ出來てくるものは宇宙の發現した原則を外れて出てくるものではない。

修め固め成せ

宇宙の發現は必ず中心から出發してくる。中心の堅固なものほど必ず大きな仕事をしてくる。中心となり、根本となるものが堅固でありませんければ、その仕事は大なることは出來ません。

伊邪那岐、伊邪那美二柱の男女の神樣に『修理固成』せよと命ぜられた。その『修理固成』といふことは修め、固め、成せ、いまの言葉で申上げますれば宇宙を組織せよの意味であります。萬物を生成化育して宇宙を組織する。宇宙の大組織を命ぜられたのであります。これには一つ根本を確立しなければならぬ。その根本は何であるか、夫婦二人の事業の中心となるものを定めなければならぬといふので、天御柱を夫婦の間にお立てになつた。

これは何を暗示したのであるか夫婦といふものは一ばん一體になり易いものである。性質も肉體も違つたものであるのに、男女ほど一體になり易いものはない。夫は全部妻のものとなり、妻は全部夫のものとなる。これが本當の一體である。伊邪那岐、伊邪那美の二神も人生の出發點から固めて一つにならなければ大事業の成功するはずはないのであります。

しかもみだれやすい夫婦の間に儼然たる天御柱をお立てになつたさうして天御柱は宇宙の中心であるから、宇宙全部を組織する根源であるといふことをお定めになつた。これが一番はじめの『神籬』であります。

御拜拍手の禮

さうして皆樣も御承知の通り伊邪那岐、伊邪那美の二神が、この御柱を男の神樣は左から、女の神樣は右から巡り會はれたわけである。一巡りめぐつたのではない。北から、南から巡られて男女の神樣がお會ひになつた。皆樣のたゞいま神社で御拜をなさる拜といふことはこゝに起るのであります。古事記にも日本書紀にもさういふことは書いてございません。禮拜といふことは拍手の際こゝに起るとは書いてはない。或は拍手の禮こゝに起るといふとも書いてない。

これだけは行に入りませんと判らんのであります。これまでたゞ夢中に拜禮をやつたり、手をたゝいたりしてをるのでありますが、ではどこから禮拜といふことは起つたか、拍手の禮はと聞きましたら恐らく解る人はないのであります。いまゝでの研究では決して解りません。たゞ拍手するのは神樣に眞を表する所以であるといふことはこれまでも學者がいつてゐるまた禮拜といふと拍手と一緒のものか、別々のものか、今は二つくつついてをるけれども實はこれは別々、禮拜は禮拜、拍手は拍手であるか、しかしそれもわかりません。

たゞ男の神樣は左からお巡りになり、女の神樣は右からお巡りになり、お會ひになつたといふことは誰でも古事記に書いてあるから知つてゐる。何のためにお巡りになつたのかといふと判らん。何のためか、書いてないから判らんといふ。

さうではありません。これを行事で考へますと判るのであります。たゞむづかしいことは行事といふことが說明が出來ない。行事でありますからやつて見なければ判りません。

行による感得

ちやうど物を食べましてその味ひを說明するのと同じことで水の味ひはお互に知つてる。しかし水の味ひを說明しろといはれても判りません。お互に飲んで知つてゐるものですから、滔々として水の如しといふと兎に角それで判つたやうに考へるが、そんな說明では水のとは判らん。咽喉が乾いた時これを飲んではじめて水の味が判るのである。これはみな飲んで判るので說明で判つたのぢやありません。いまは西洋人も茶を飲むか知らぬが、西洋人に茶の味ひを說明しろなんて申しましても決して出來ません。說明で判ることでない飲んでみればこんなものかと感ふ、それと同じことです。行に感ずることは行事をやつて見ればはアなる程これでなくちやならんといふとが判ります。話を聞いたんでは判らない。

たゞ何の意味もなく男の神樣が左から、女の神樣が右から巡つたといふのではありません。いやしくも宇宙の大組織をおやりになる基礎をお立てになる伊邪那岐、伊邪那美の二神が何んでもないことをなさるわけはない。本當に行に入つて考へなければならぬ。さういふ重大なことを輕く說い神話だとか、桃太郎の話ぐらゐに考へて古典に臨むのでありますから決して判るはずはない。從來の考へでは決して判りません。[illegible]

文化
國語への愛情
私と國語
香山光郎

私は小學校には行つたことがない。中學から東京で敎育を受けた。私の國語の力は中學と文學書から得たもので、小學敎育を受けてゐないから大變不完全なものである。

私は最近において再び國語勉强を始めてゐる。それは完全な國語を使ひたいといふ野心からだ。

私はラジオを力めて聽取してゐる。特に放送劇や漫才や、講演などを注意して聽いてゐる。これらの人は、いづれもことばの人であり、且つ生活のあらゆる部門のことばが、これらのプロで聞かれるからだ。大變ためになると思ふ。

朝鮮人たる私として、一番困るのは、家庭內のことばを聞く機會に惠まれてゐないことだ。そのために私の國語は『本のことば』の域を出ない。生きた、實際に語られてゐる國語になり難い。私はこの缺陷をラジオや電車內の聞き齧りで補はうと努力してゐる。

書く文章、話すことばから、朝鮮人臭いところを全然なくすることは、非常に難しい。語彙の不足、ことばの意味の含蓄の足りないこと、發音と抑揚、そして最後に考へ方、表現の仕方の種々なる誤、これらを全部除去して初めて國語が解るといひ得る。殊に國語で文學を書くためには、この外に日本そのものを十分に正確に理解し、感じ、それに生きなければならない。『うろおぼえ』を『でたらめ』に使つたのではそれは[illegible]にしかなつてゐないのだから。

不連續線 卑屈

靴の底に打つてある鋲が新しいので、少し急いで步くと、滑りさうになる關係もあらうが、電車線路を橫切るにも、地下道の階段を足早に步くにも、滑るやうな人波に壓倒されるやうな氣がして、まごまごすることが多い。

『やい。氣をつけろ』

うしろからの聲にハツとしながら、ふと振り返ると、それは私へではなく、何か言ひ合ひで罵つてゐる學生の口論だつた。

十六ミリ映畫講習會 廿六日から開催

最も效果ある學生機關として學校工場、商業機關などで益々その利用範圍を擴大しつゝある十六ミリ映畫設備は資材難の折柄、種々行き惱みの狀態にあり、當局ではこれが打開策を攻究中である矢先き、總督府情報課映畫班では現在各種團體で普遍的に使用してゐる小型十六ミリフィルムの正しい使用取扱ひ法と映畫敎育の理解普及を深めるため官公署、學校職員、關係技術者等に呼びかけ來る廿六日から三日間府民館小講堂で『十六ミリ映畫講習會』を開催、講師には關係職員が當り、映畫敎育實施要項と機械技術の兩方面について講義するが、外に本講習會へ特に招聘する豫定になつてゐた內閣情報局第二部第五課長不破祐俊氏は都合で來鮮不能となり、更つて文部省から關係官が派される模樣である

情報課映畫班 錄音設備成る

總督府情報課映畫班では映畫製作上の諸設備に資金を計上、錄音ステージの建設を計畫中のところこのほど同工事に着手する、完成は十二月中旬の見込みであるが、現在撮影を完了してゐる同班製作の諸作品仕上げはすべてこの設備を利用して行はれることになつてゐる。

文化だより

◇淺原鏡三氏（朝鮮映畫配給社業務部長）移動映寫班設立要務打合せのため廿五日から約十日間の豫定で西鮮地方へ出張

◇鈴木貫一郎氏（李鍾泰）このほど長簞町四三ノ四（本局九二四番）へ移轉

◇四宮千鶴氏（俳人）同組入社京城支店勤務となつた

◇東寶映畫出張所長更迭 現所長中山英雄氏は近く東京本社へ轉任、後任には同本社の田中富雄氏が赴任することに內定した

季題選 遠山笑一選
梅干

世におもく用ふるものを入梅のたた梅ぼしとかろく見るかな　中村鐵之助

老武者のしわにも似たる梅ぼしもいくさのにはにめされてそゆく　古城惠子

岩角に腰打かけてひる餉とるむすびの中の梅ぼしの味　安藤 [illegible]

一萬の記念大會や神前に完勝の誓ひ
兵制七十周年の感激
來る廿七・八日

北はアリユーシヤンから南はロ度洋、ソロモンに宿敵米英撃滅の正義の鉾は進み、今や百戰勇武のわが將兵の偉勳は大東亞の黎明と共に世界戰史に燦として輝き映つてゐるが、來る廿八日は大東亞戰下に一入意義深く迎へる徴兵制七十周年の記念日である、この日全鮮では戸毎に國旗を掲揚し、記念日に因む講演會映寫會を催しわが忠勇無比なる皇軍將兵の勳を讃へ銃後奉公の誓ひを新たにするが

國民總力聯盟では國民感激のこの記念日を半島銃後に一層徹底させるため、廿七日午後七時から京城府民館で〝激兵制七十周年記念日に際し〟と題する陸軍中將岡崎登氏の講演會を開催する外、廿八日の記念日當日は多彩な行事を繰り展げる

當日京城では午前九時半から總力朝鮮、京畿道、京城府三聯盟主催で朝鮮神宮大前で徴兵制度七十周年記念奉告祭を行ふ

に朝鮮徴兵制完遂祈願祭を擧行、同午後二時から京城運動場で

三聯盟幹部役員、方面實踐部長、町聯盟幹部役員、愛國班長、各種聯盟幹部役員、學校聯盟理事長、官公署、鄕軍、婦人會、大學專門、中等學校生、警防團、志願兵訓練所、青訓、諸團體等

約一萬が參集のもとに盛大な記念大會を擧行する外特に午前十時半から總督府、パコダ公園、三越附近で軍隊、鄕軍、學生聯合の壯烈な市街戰を行ふ

記念行事中の壓卷
實戰宛らの市街戰
在城部隊の精鋭も參加

來る廿八日の徴兵制七十周年記念日に實施せられる記念行事中の壓卷たる記念演習および分列式に關する打合會は廿五日午後一時から京畿道第一會議室で行はれ軍側から當中佐以下各將校、學校側から配屬將校、教練教師、生徒代表等約五十名參集して打合せを遂げ次の如く當日の記念演習を盛大に擧行することに決定をみた

記念演習は當中佐が統裁官となり在城部隊の精鋭が參加、これに燕頭兵、府内大學、專門、中等學校學生々徒約一千名が參加して南北兩軍に分れ當日午前十時半から十一時まで鐘路附近、三越前、總督府前の三ケ所において實戰宛らの壯烈なる市街戰を展開し引續き光化門前で勇壯なる分列式を擧行することになつてゐるが、特に本演習は徴兵制の意義を半島一般民衆に強く認識させるため街頭における一般の見學を奬めてゐる

〝故人もさぞ本望〟
輝く賜金の恩命に浴し
殉職した奧島大佐未亡人談

【佐世保電話】今回行賞の恩命に浴し賜金の光榮に輝く故奧島章三郎大佐は愛媛縣の出身、松山中學卒、兵學校四十四期生で兵學校卒業後專ら潛水艦乘組として活躍、わが海軍の潛水戰の權威であつた同大佐は去る昭和十五年八月廿九日東京灣南方海面の實戰的猛訓練中遭難した伊號潛水艦の司令であつたが、父子未亡人（四七）は長女德子さん（二〇）次女禮子さん（一七）長男一郞君（一二）とともに佐世保市汐見町二三に居住、次の如く語る

主人は潛水艦を自分の家のやうに考へいつも自分は一生潛水艦で終る、艦と運命をともにするのだと申してをりました、艦と運命をともにしたことは故人としても定めし滿足であつたと思ひます、けれども米英擊滅戰に參加させ華々しく、君國のため最後の御奉公をさせたかつたのです

略歷　大正五年十一月兵學校卒業後潛水學校甲種學生、那智乘組潛水艦長を經て昭和十年十一月中佐に進級、翌十一年十一月潛水隊司令に任ぜられ十五年九月大佐に任ぜられ伊號第六十

十八年度卒業期繰上げ

【東京電話】文部省では昭和十六年勅令をもつて在學年限ならびに修業年限の短縮を行ひ若き學徒をして速かに國防或は國内生產部門に參加協力せしめるべく昨年十二月からこれを實施したが、既報の如く十八年度も右臨時措置法を適用、卒業ならびに修業年限六ケ月乃至三ケ月の繰上げを行ふ、右年限短縮に伴ふ徴兵檢査および入營期日については別に陸軍省から發表される筈で十八年度卒業期を繰上げるものはつぎの如くである

六ケ月短縮（昭和十八年九月卒業）大學學部、大學豫科、高等學校高等科、專門學校、實業專門學校、高等師範學校、女子高等師範學校（教育科および研究科を除く）專門學校における修業年限三年以上の研究科および別科、臨時教員養成所、實業學校における修業年限三年の高等科、專門學校令第五條の資格をもつて入學資格とする修業年限三年以上の學校または前記の實業學校に準ずべき學校にして私立學校令により設立されたもの

三ケ月短縮（昭和十八年十二月卒業）國民學校初等科修了程度をもつて入學資格とする修業年限五年以上の實業學校國民學校高等科一年修了程度をもつて入學資格とする修業年限四年以上の實業學校および國民學校高等科修了程度をもつて入學資格とする修業年限三年以上（夜間授業をなすものは修業年限四年以上）の實業學校、前記の實業學校に準ずべき學校にして私立學校令により設立せられたるもの

空への護り完し
京畿道で記念防空强化運動
開戰一周年

全國民が感激のうちに迎へる十二月八日の大東亞戰爭第一周年の輝く記念日—この日全國一齊に一周年を記念する多彩な行事が繰展げられるが、京畿道ではこの意義ある記念日に當りいよ〳〵防空の强化を圖り國土防衛の完璧を期する上から九日から十一日まで三日間道内全般に亘り官公署、學校、工場、會社、銀行、病院、興行場等の特設防護團及び全愛國班を動員し『大東亞戰爭第一周年記念防空强化運動』を實施することに決定、この機會に特設防護團、愛國班の自衛防空力を更に一段と强化し敵機の空襲に際し斷じて各自の持場を死守するの自信と實力を養はせ、防護の方法、計畫の檢討、設備資材の整備充實を圖る事となり大略次の要領により實施することとなつた

强化運動第一日の九日は模範特設防護團または愛國班につき實地に他の防護團、愛國班をして見學せしめる、第二日は防護方法或は計畫の再檢討、設備及び防空設備資材の整備點檢をなし第三日は各特設防護團、愛國班等につき實施するが、サイレン、警鐘等の音響信號はなさない

日滿華の契り固し
帝都で興亞國民大會
締盟二周年記念日

【東京電話】大日本興亞同盟では日滿華三國締盟二周年記念日たる卅日大政翼贊會と共催で日比谷公會堂にて興亞國民大會を開催する、同大會は午後一時半開會、國民儀禮のゝち三國々歌を吹奏し詔書奉讀、大東亞戰爭の必勝を祈念し日滿華共同宣言を朗讀、三國締盟の決意を新たにしたのち林總裁が挨拶を述べ座長に同總裁を推擧議事に入り皇軍に對する感謝決議、滿華兩國への祝電などを決定し、東條首相、王駐日滿洲大使、褚駐日中華大使の祝辭があり祝電を披露、青木大東亞相および翼贊會興亞局長永井柳太郎氏の講演があり聖壽萬歳、滿華萬歳を奉唱して閉會する

なほ引續き陸軍省監修の映畫『東洋の凱歌』（バタアンコレヒドール攻略實戰記）を上映するが、滿華の各地においても協和會、新民會、興亞總軍中國總會、蒙古興亞協力會主催のもとにそれ〴〵興亞大會が開催されるはずである

烈々、聖戰の獅子吼
永井柳太郎氏を招いて一周年大講演會

聖戰一周年記念日を迎へて二千四百萬の決意いよ〳〵固きを加へつつあるとき國民總力朝鮮聯盟では大政翼贊會東亞局長永井柳太郎氏を招いて半島民衆に更に確固たる總力挺身を促すべく記念大講演會を催すこととなつた、同氏は七日空路京城着、八日の一周年記念日に京城府民館で、翌九日は平壤でそれ〴〵講演を行ひ十一日京城發空路歸京の豫定だが、大東亞戰爭に巨大な進擊をつづける大政翼贊會の首腦者永井柳太郎氏が總力運動に協力して半島二千四百萬民衆に皇道を獅子吼する叫びは今から期待されるものがある

〝寒ブリ〟大量入荷
野菜不足の台所へ朗報

長さ三尺六、目方にしてヅッシリ三、四貫はあらう見るから生きのよいブリ三千貫が廿六日京城中央魚卸賣市場に大量入荷、肉不足、野菜不足の台所はこの際海の牛肉の鮮魚で賄つて生產戰に頑張らうと仲買人の掛聲も〝ホーイ〟〝ホーイ〟の威勢よさ、職域場長陣頭にたつての配給に朝の市場は

千貫、南鮮物の甘鯛、眞鯛、タコが各二百貫、近海物大衆魚ではカナガシラ八百貫、カレヒ、ヒラメ、アヂなどそれ〴〵三百貫程度、計七千貫近くがこの日一時にドット入荷、午前中早くも百萬府民の臺所をめがけ配給

されて行つた【寫眞＝どうと入荷したブリの山】

佛印一周自轉車競走大會
來る廿九日から擧行

【東京電話】佛印總督府青年體育局では今年十二月廿九日から明春二月までにわたつた佛印一周自轉車競走大會を大々的に擧行するが本大會に日本選手の參加を求めることとなり、このほど在佛印芳澤大使を通じて大東亞省兒玉紹介があつた、この大會の走路は全佛印一周、行程約四千百キロにわたる大長距離で大東亞省文化局では直ちに大日本體育會に交涉これが參加、不參加に關して慎重協議を行ふことゝなつた

この大會は昨年十二月から今年一月にかけて安南、交趾支那、カンボヂヤ、東京の各地代表ならびに佛印駐海軍代表選手をめて擧行された佛印縱走自轉車大會を擴大しさらに東亞體育の指導者日本代表選手の參加をも要請してゐるといふ劃期的な大會でもあり、また大東亞戰に決運部隊として各戰線で驚異的戰果をあげた皇軍銀輪部隊の活躍に佛印が今さらの如く新兵器として自轉車の重要性を認識した結果でもあり大東亞戰果に開催する共榮圏内初の交驩競技會として大いに期待されるものである

輸送陣營へ垂範
全陸運從業員を打つて一丸
戰場精神昂揚の運動

【東京電話】『われらは戰ひつつあり』との戰場精神を鼓吹して輸送報國に邁進するため今回鐵道省では國鐵奉公會を中心に全國地方鐵道、軌道、小運送業者などの全國運從業員を打つて一丸とし來る十二月八日の大詔渙發一周年記念日前後に『戰場精神昂揚運動』を展開、翼贊會を中心として實施せられる一般國民の重點的輸送ならびに滯貨一掃への協力運動に呼應す

籠球聯盟戰

◇第六日　同光、和信、中華
◇第五日　京城蹴球、朝運稅務署、織友
◇第四日　日本出版、全組專、白雲俱
◇第三日　金融俱樂部、朝運青年、紀新

血に結ぶ三國同盟
『一億國民の新決意』
奧村次長講演

【東京電話】奧村情報局次長は『一億國民の新決意』なる題下に内原訓練所において廿五日午後二時より二時間半にわたつて講演を行ひ、大東亞戰爭が今や大會戰につぐ大會戰の死鬪連續の本格戰なると一億國民いよ〳〵鞏石の新決意の下に、國民總進軍をますます〳〵强化する要あることを強調、併せて歐洲戰爭と大東亞戰爭とが一つの戰である所以を明かにし、日獨伊は血によつて結ばれた兄弟ともいふべく我が喜びは彼の喜びであり、彼の悲しみは我の悲しみであり、國民は西の歐洲戰爭を高見の見物で濟ませることは出來ざる所以を力說し獨のスターリングラード攻略戰の經過および北阿戰況に關し詳細に語つて國民の覺悟を促したが、講演要旨はつぎの通り【寫眞＝奧村情報局次長】

血に結ばれた三國

今日の大東亞戰爭と歐洲の戰爭が一つのものであることは申すまでもない、われ〳〵の敵米英は同盟國であるドイツ、イタリーにとつても同樣に敵である、またわれわれの日獨伊枢軸は戰に共同の敵に對して、戰ふといふだけではなくさらにこの戰爭を通じて、建設しようとする世界新秩序についても同じく目的と責任とをもつてゐる、かくの如く新しく世界の歷史を作りかへようといふやうな同盟は未だかつて歷史上にその例を見ないのであつて永く人類を繫して來た舊い因襲と惡徳の一切をこの地球上から排拭せんといふ大理想によつて結ばれた日獨伊三國は、單に戰なる友邦といふより血によつて結ばれた兄弟ともいふべく全くの一心同體である、われの喜びは彼の喜びであり、彼の悲しみはまたわれの悲しみである、この意味においてスターリングラード攻略の發展に伴ふ歐洲戰爭の成行きおよび北阿の戰況についてお話を致し併せてますます〳〵樞軸必勝の喜びを固くしたいと思ふ

獨軍の鋼鐵の意志

獨ソ三百萬の大軍が數千台の戰車、飛行機をもつて死鬪を重ねるスターリングラード攻防戰はまさに近代戰の典型である、スターリングラードがコーカサスへの關門として、またボルガ河、カスピ海を通ずる南北交通の要衝としてソ聯の生死にかゝはる重要地點であつただけに、攻めるものも守るものもともに死力を傾けた慘烈、悽愴は全く言語に絕するものがあり第二のベルダン戰といはれた所以である

しかしさしもの激戰も旺盛なる氣魄と精銳なる兵器を有するドイツ軍の勝利に歸したやうである、ドイツ軍がスターリングラード市の中央部を占領し、ボルガ河畔に達したとはさきのドイツ軍當局發表に見るが如くであり、最近まで反攻してゐた北部の十月赤色工場も漸く沈默したやうであつてスターリングラード攻略の戰略的目的は達成せられたと見るのが妥當である

九月初旬にドイツ軍がスターリングラードの總攻を開始して以來かなりの時間を費したがわれ〳〵はこれをもつて些かもドイツ軍の戰力を疑ふべきではなく、寧ろ死力を盡したソ聯の抵抗とあらゆる困難をも物ともせず遂に撃滅の都スターリングラードを撃滅の意志をもつて克服したドイツ軍に對して驚歎の敬意を表せざるを得ぬ

ソ聯抗戰力の低下

スターリングラード攻略の成功が今後の世界戰局に及ぼす影響は實に大なるものがある、先づ第一にソ聯はこれによつてウクライナと北コーカサスの農產物の大半を失ふに至つた、同地方はソ聯の穀倉またはソ聯のパン籠と呼ばれ、ソ聯全體の農產物生產額の二十五パーセント乃至三十パーセントを占めてゐた、しかしシベリヤをも含めたソ聯全體ではなく、ヨーロッパ・ロシヤにおいてウクライナと北コーカサスの農產物の占める割合はそれより遙かに上廻るべく、來るべき冬におけるソ聯の食糧難は避け難いと思はれる、さらにソ聯はドネツ盆地を中心とする鐵、石炭、電力及びそれに附帶したるソ聯有數の重工業地帶をすべて失つた、この地方の鐵と石炭はソ聯全體の生產高の六十五パーセント乃至七十パーセントを占めてゐた、もつてソ聯の打擊が想像出來るのである

米英への打擊甚大

かくてスターリングラードの攻略は軍事的に、經濟的にまた精神的にソ聯に彪大なる影響を與へたのみでなく、それはまた同時に米英の打擊であり、今後東部の獨ソ戰が一段落ついた暁には米英なかんづくイギリスはドイツの鋒鋒を直接にうけねばならなくなつたわけである、しかしながら今後における最も重要な問題はソ聯と米英との關係である、スターリングラードが危機に瀕するやソ聯は再度ならず米英に對して即時歐洲における第二戰線の結成を要求したが結局米英はソ聯の滿足を買ふことは出來なかつた、こゝに米英の不信と無力を身にしみて味はされたソ聯は、米英の手先となつて獨りドイツの矢面に立つことの愚かさを痛切に體得したはずである

一方カスピ海、ボルガ河を通ずる援ソルートを絕たれ米英のソ聯に對する物資援助は大打擊をうけるに至つた、たとひカスピ海の東部、中央アジヤを經てソ聯の中央部に至る大迂回路に新しく新ルートを設けるとしても物資の輸送は著しい制限をうけるであらう、この點からいつても今後のソ聯と米英との關係は少くとも從來以上に複雜困難になつたものと見るべきである、とすればスターリングラードの攻略が獨ソ戰に與へる影響延いては世界戰局に及ぼす影響はまことに測り知るべからざるものがある、なんとなれば今日の世界戰局における獨ソ戰、わけてもソ聯の存在こそは今後の戰局の動向を決する重大な一つの要素となつてゐるからである、いはゞ今日辛うじて保たれてゐる樞軸國對聯合國のバランスは、獨ソ戰今後の展開如何によつて一つの決定點に到達するものと考へられる

獨不敗の態勢整ふ

聯合國側の幾多の困難に引きかへ、一方ドイツはスターリングラードの攻略によつて大體本年度の東部作戰の目的を達成していよいよ東部戰線において不敗の態勢を整へたものといへる、昨年末モスコー攻略の一歩手前において雪のためにやむなくドイツが東部の休戰を宣するや米英はナポレオンのモスコー敗退の古事まで持出して盛んにドイツの戰力の低下と獨ソ戰の失敗を宣傳した、また事實ドイツが昨年末から今年の春にかけて内外ともに最大の苦難に當面したことは過日のヒトラー總統の發表にもある通りである、かかるドイツの困難を目して米英が如何に雀躍し、かつ策動したかは想像以上である、しかもわが國の米英に對する宣戰の大詔は實にこの時に渙發された

轉禍爲福北阿情勢

次に北阿方面の情勢であるが、今夏ドイツのロメル將軍の指揮するドイツ軍は同將軍の卓拔なる統帥の妙とイタリー軍との協同によつてトブルクより進出して一氣にマルサマトルーまでを攻略し、アレキサンドリヤおよびカイロを壓迫してをつたが、その後その進擊は停滯するに至つた、英米側においてはスエズを失ふやうな事態に立ち到らば重大な脅威となるので急遽大軍をエヂプトに集結してドイツの攻擊に備へてをつたが、去る十一月八日未明行はれた米軍の佛領不法侵入と相前後して攻勢に轉じ目下のところ相當失地を回復してロメル將軍は後退の已むなき情勢のやうである、米軍の佛領侵入の實相は次のやうである

すなはち十一月八日未明大西洋岸においてカサブランカを中心に、地中海沿岸においてはアルジエーおよびオランを中心に敵

夕刊 京城日報

資福寺、熊家河を攻略
精鋭、三湖の北岸に殺到
沙市方面さらに戰果擴大

【漢口廿四日同盟】沙市方面資福寺市を占據、戰果を擴大中のわが〇〇部隊はさらに曹家場(資福寺市南方五キロ)に進出、廿一日熊家河を攻略したのち反轉して熊家河南方五キロ夏家台より同夜三湖南岸に進出、廿二日拂曉を期し一大船團をもつて三湖を東進し、西南兩方面より張金河市を占領、他の一部隊はこれに相呼應して三湖北岸の清水港、了角廟市に向ひ引續き戰果擴大中である

締盟の契愈よ固し
防共協定けふ六周年
堀部長談

【東京電話】廿五日の防共協定締結第六回記念日にあたり情報局堀第三部長は昨今愈よ重要を加へつゝある防共協定の意義について外務省記者團に對し左の如き談話を試みた【寫眞＝堀部長】

省れば六年前(昭和十一年十一月廿五日)日獨兩國間にはじめて防共協定が締結され、昭和十二年十一月六日イタリーが加入し、防共協定はこゝに日獨伊三國防共協定となり、續いて滿洲國、ハンガリー、スペインの三國これに參加し、締約國は六ケ國となつた、だが客年十一月廿五日協定滿期と共に防共協定の効力はさらに五ケ年延長せらるることゝなり、中國、ルーマニヤ、ブルガリヤ、フィンランド、スロバキヤ、クロアチヤ、デンマークの七ケ國がこれに加入して、こゝに防共協定は十三ケ國間の嚴然たる協定となつたのである

防共協定の意義については條文に明かなる通り、共產インターナショナルの目的が世界的の破壞工作にあり、これを防遏するため、締約國が緊密なる協力をなす點に存する、刻下の世界情勢にかんがみ、ますますその意義を痛感する、すなはち帝國としては重慶に殘存する將政權が共產軍と共同し抗日戰線を張るとともに支那の赤化を激化するを傍觀しつゝある狀況において、如何に東亞の建設のために防共の意義重大であるかを痛感してゐる

ことに今日有史以來の聖戰に邁進してゐる帝國としてコミンテルン赤化の魔手が帝國を脅威するが如きは斷じて容認し得ざるところであり、國民は共產主義の害惡を認識し、益々盟邦との契りを强化し、わが國體と絕對相容れざる共產主義の排擊に力を致し聖戰完遂に遺憾なきを期すべきである

ジャローで激戰

【ベルリン廿四日同盟】モロッコ放送によれば反樞軸軍司令部は廿三日夜ビゼルタ軍港を距たる約卅キロの地點においてチュニジヤ地方戰鬪の激戰が展開されてゐる旨發表したといはれる【マドリード廿四日同盟】アルジエーからの報道によれば、樞軸軍はチュニス、ビゼルタ兩地間で西地中海に注ぐメジエルダ河に沿ふ地帶で聯合軍を邀擊、目下ジャローに於て激戰展開中と傳へられる

葡對米抗議

【リスボン廿四日同盟】ポルトガル政府は米空軍のポルトガル領空侵犯に付廿四日米國政府に對し嚴重抗議した

西阿の新情勢
佛政府聲明か

【ビシー廿四日同盟】米英兩國の宣傳機關はダカール總督がダルラン傀儡政權の傘下に馳せ參じたとか、さらにダカール地方の平和使節が目下アルジエーにおいて傀儡政權乃至反樞軸軍當局と協議してゐるとか頻りに宣傳してゐるが、フランス政府當局は『佛領西アフリカ植民地の新情勢について』廿

アーブル海相
將星と鳩首協議

【ビシー廿四日同盟】米軍の佛領侵入を契機としてフランス政府がいよいよ樞軸との合作を緊密化しようとしてゐる際、新任海相アーブル提督は廿四日ツーロン軍港に赴き同鎭守府の諸將星と數次にわたり鳩首協議を遂げた

四日夜または廿五日頁大聲明を發表するに決定したと解される。一方ラバール首相は依然パリに滯在してドイツ代表その他と會談を重ねてをり、ビシーに歸還するのは早くも廿五日となる見込だから右聲明はパリで發表されることになるかも知れない

佛の對英米
宣戰目睫

【リスボン廿四日同盟】ブラッセル放送によればフランス政府は目

米軍この衝突
頻々
北阿の治安惡化

【パリ廿四日同盟】廿四日當地に達した現地情報によれば佛領北阿における聯合軍占領地域の治安は日を逐ふて惡化し、ダルラン、ジロー、ド・ゴール三つ巴の勢力爭ひに加へて土民軍の叛亂が、殊に甚だしいのはオラン港を中心とする地區で米駐屯軍との間に衝

ツーロンに警報

【ビシー廿四日同盟】廿四日午前五時國籍不明の飛行機がツーロン軍港上空を通過、同市では空襲警報が發せられ高射砲が一齊に對空砲火を浴びせたが、正午に至り警報は解除されたと傳へられる

一分間三千發の機關銃
ドイツまたく新兵器發表

【ベルリン廿四日同盟】廿一日冬期山岳戰用の新兵器を發表して世界兵器史に新たなる一ページを飾つた獨軍當局は廿四日夜またく新兵器を發表して各國軍事專門家の注目を集めた、その新兵器は、一分間に『三千發』を發射する最新銳超高速機關銃で、現在スターリングラード南方地區およびドン河灣曲部における戰鬪に使用されて驚異的成功を收め同方面における反攻赤軍に致命的損害を與へてゐるが右新兵器の性能は追つて獨軍當局より詳細發表される豫定である

明るく正しき警察
民心を離れて治安なし
警察部長會議 丹下警務局長演示

各道警察部長會議は前日に引續き廿五日午前九時半から總督府第二會議室で丹下警務局長以下關係各課長列席のうへ開催、國民生活の安定確保、防空等重要事項につき討議を續け正午一旦休憩、午後も打合懇談を行ひ二日間の全日程を終了した、同會議における丹下局長の演示は次の通りである【寫眞＝丹下警務局長】

私はさきに警務局長の重任を拜し時局重大の際その責任の極めて大なるを痛感してゐるのであるが各位と共に全幅の努力を傾けて、微力でありまするが各位と共に全警察一體になり渾身の努力を傾けて職責を果すべく覺悟を致してをる次第である、今後各位の積極的の御協力を御願致し亂くめて御統率なる御訓示を頂き大戰下朝鮮警察の進むべき大道を明確に把握致した次第である、吾々は茲に心氣と決意を新にして深く御意圖を體して職責の完遂に邁進せねばならぬと存ずる、就ては以下聊か御訓示の趣旨を敷衍して所見を述べ各位の御參考に資し度いと思ふ

綱紀の肅正に付て

吏道の刷新綱紀の肅正は總督閣下御就任以來機會ある毎に強調せられてをる所であり、私は朝鮮全警察官が之に依る警察の嚴正公平を確保する立のため日又飯內治安の維持のため最も重要なる前提要件であることを充分認識致してをることゝ存ずる、然るにも不拘この會議の席上總督閣下より重ねて本件御訓示を頂かねばならぬ責任にあることを各位と共に痛く遺憾とするものである、吾々はなんとしても斯る拙轍を一掃し一郷たりとも速かに朝鮮警察をして明るく正しく强き警察たらしむることに全幅の努力を注ぐべきであると考へる

凡そ眞の治安は民衆の警察に對する深き理解と信倚を前提として初めて之を庶幾し得るのである、民衆の信賴を失へる警察は平時に於てはその威力により、或は平靜を保持することも出來よう、然し非常混亂の場合に處し克く民心を掌握して之が領導の任を全くするが如きは到底不可能のことゝ斷ずる、戰時下警察たらしむると共に、外、民衆の師表たるに足る警察官として眞に民衆の師表たるに足る警察官として重大なる職責を荷ふ警察としてはその數の多きことよりは寧ろ精强なることを特に必要とするのであり、警察の威信を傷ける民衆の信倚を失ふが如き所爲あるものは眼に見えざる點に於て警察力を甚しく減殺しつゝあるものと謂はねばならぬ

凡そ戰爭長期に亘るときは人心弛緩し道義、風紀の頽廢することは古今の通弊である、斯の如き風潮を阻止し民心の指導啓導を期することは朝鮮警察の重要職責である各位は深く總督閣下の御意圖を奉じ、內警察官の精神的訓練の強化監督の徹底、監督方法の改善、信賞必罰の嚴行等綱紀の振肅に必要なるあらゆる手段を講じて、部內の肅正を期し、朝鮮の全警察官をして眞に民衆の師表たるに足る警察たらしむると共に、外、民衆の行動すべき正しい指標であり、而も系統を通じ何れも總督の方針を正確に把握して的確に

上意の徹底と各機關の協力

公吏の非違に對しても敢々乎として之が摘發を期せられたいのである、從來動もすれば警備力の低下を慮り還讓の見込みなき既得者の除去を躊躇するが如き傾向なしとせぬのであるが、又斯の如き考へ方は斷じて執らざる所である

現在の時局に於て最重要なことは國民協力を戰爭完遂の爲集結することでありこれが爲には先づ國家の凡ての機關が戰爭目的の遂行にその全能力を集中することが必要と存ずる、隨つて荷くも官吏たる者は其の地位の上下を問はず國家の大目的が奈邊に存するかの認識に缺くる所があつてはならぬと同時に國家各機關相互その固有の職分を固執して對立、割據し民衆を闘擊に迷はしむるが如きことあつてはならぬ、之を朝鮮の場合に付て申せば鮮內の各行政機關は凡て總督の方針に依り動くべきことは申す迄もない郡ち道、府郡、警察、邑面、駐在所等それくの系統を通じ何れも總督の方針を正確に把握して的確にする各機關の行政實務に付相互些の矛盾間隙あらしめざることが必要である

從來動もすれば本府最高の意思の下級機關に對する徹底迅速を缺き、或は下級機關に至るに隨ひ甚しく歪曲さるる等のこと無からず、又關係機關相互連絡不充分にして互に功を急いで却而行政の効果を損ひつゝあるが如き事例無きにあらず、かくては國家總力の結集等は到底望むべくもないことは自明の理である、各位はよくこの間の事理を省察し上意下達の徹底及各機關の協調連絡に付一層細心の注意と熱意を傾け緊密適確の足並を亂れしめざる樣努められたいのである

警察官の錬成

支那事變發生以來警察の負擔は益々加重の一途を辿り新な事務は急々加重せらるべきこと必然の趨勢にある、然るに警察力の增强はこの趨勢に伴はず殊に近時官吏の轉職による警察官の缺員は相當多數にのぼり、このことは大に憂慮さるる所であるが、この不利なる條件を克服して其負荷を全うせんが爲には不屈不撓の警察精神を堅持しその素質と能力の向上を圖る外に途はないのである

本府におきましても總督閣下の御指示により初任巡査教養の徹底と一部幹部の再錬成に付至急成案を得可く目下考究中であるが、總督の御訓示にもあるが如く、眞の錬成は常時監督の任に在る者の常時の薰陶指導が最も緊切である、殊に錬成の爲に長期間に亙つて多數警察官を一地に集結し、之に長時間を割くが如き餘裕乏しき現下の情勢に於ては監督者たる者は職務の執行、事務の處理その他公私に亙る凡有機會を錬成の教材と心得、その精神を錬り、實務能力を向上せしむる樣努力することを必要とする、各位は自ら部下職員の監督に付更に一段の熱意を加ふると共に、監督の任に在る者の凡てに對し、以上の心構へで部下職員の錬成に當らしむる樣督勵せられたいのである

民心の動向査察並に之が指導

戰時下朝鮮に於ける民心の動向に關しては總督閣下の御訓示にもあつた如く、各位の適切なる施策により半島民衆は急速に皇國臣民としての自覺を高め克く時局の認識を堅持して聖戰完遂に邁進しつゝある現狀であり、從つて民心の動向は表面概ね平靜を保持しつゝあることは同慶に堪へませぬ、然し乍ら仔細にその實情を檢討するときはなほ憂慮を許さゞる幾多の事象を發見しうるのである、各位は民心の徹底的把握に努め民心の動向を明察し之に適應する施措を講ずるに萬遺憾なきを期せられたい

國民生活の安定確保

戰爭の長期化に伴ひ國民生活が窮屈化することは必然の過程であり戰爭を勝ち拔くためには國民が凡有苦難缺乏に耐へ、戰時生活に徹することを必要とするのであるが國民の一部にはなほこれが認識を缺き或は統制を紊り、或は南方物資の豊富なることを吹聽して緊張に弛みを來す者あることは甚だ遺憾とする所であり、殊下の情勢は諸種の事情より觀察し、生活必需物資の不足は益々增大するものと觀測せねばならぬ、從つてこれに乘ずる者の暗躍、買溜り買漁、民衆の買占、資材の不足を誘る傾向も漸く增加する虞あるのである、よつて各位は民衆の不安と警察に對する期待に對し、一層配給の諸機構と緊密なる連絡を保持し配給機構の整備、消費規正の强化、生活必需物資配給の圓滑化に最善を盡し以て國民生活の安定確保に遺憾なきを期せられたいのである

又經濟警察の取締對象は極めて廣汎多岐に亘ると共に民衆の利害休戚に甚大なる關係を有しその措置一歩を誤るにおいては或は善良なる民衆に不測の損害を被らしめ或は一般の消費生活を徒らに窮屈煩瑣ならしめ延いては國民に厭戰乃至反官的風潮を釀成し銃後の國民生活を破壞に導く虞があるから之が取締に任ずる者はよく經濟界及び一般民衆生活實態の事情に通曉し、公正なる觀點に立つて最も適切少き方法により實効を收むる樣格段の考慮を拂ふことが肝要である、近時警察に對する批難の出所を探究するに經濟警察に關するもの頗る多いのである、之等は私利追求の徒輩の無反省なる非國民的言動乃至は警察に對する根據なき臆測に基くものも多いのであるがその原因の如何を問はず斯る傾向は戰時下最も忌むべき現象であり、警察の責務とする各般の盛衰遂行上大なる障碍となるのである、各位は部下職員をして戰時國民生活の實態を理解せしめ取締に臨む場合の民衆の境遇は努めて寬嚴宜しきを得て

防空に付て

半島防空に關しては時局の重要性に鑑み本府においては本年度第二次防空緊急對策を樹立し、先般道防護課長を招集しこれが處理に關し詳細なる指示打合せを行ひその後各位の多大なる努力に依り着々整備を見つゝあることは寔に同慶に堪へぬ、然し乍ら現下における防空情勢を觀察するに米國の太平洋反攻作戰が愈よ活潑となりつゝあることは米國における航空母艦の大量建造、或は米國に軍用機の大量建造、或は米國の航空軍參加等に依りその片鱗を覗ひ得るのであり今後太平洋上或は支那本土よりするゲリラ的空襲の公算頗る大なるものあるを豫想せらるるのであり半島防空準備は一絲の懈安をも許さざる時期にあるものと思料さるる、然るに翻つて鮮內の實情をみるに防空實施の如きは今日未だ何等緊迫なき表面の平靜に狎れ日大東亞戰爭勃發以來の長期の勝々たる戰績に醉ひ、動もすれば精神的弛緩を來し防空訓練或は防空施設の整備を等閑視する傾向にあることは寔に寒心に堪へざる所である

今日最も戒心を要するは國民の防空精神の弛緩である、各位は斯如き謬想を根本的に是正啓蒙すると共に情勢の推移に備へて防空訓練の强化徹底、防空施設整備に一段の努力をなすは勿論、一朝有事の際災害の防止並に治安確保上必要なる警察の措置に付周密なる計畫と之を運用すべき警察幹部の心構へに付不斷の訓練を積まれたい

以上は當面時に緊要なる所管事項に付私の所信を申し述べた次第であるが詳細に付ては夫々指示し又別に各位の意見を徵して打合懇談する豫定であるから充分討議を重ね本打合會をして成果あらしめられんことを切望する次第である

赤軍の反攻を撃碎
スターリングラード市戰 獨軍依然優勢

【ベルリン廿四日同盟】スターリングラード西南方地區では廿四日終日獨ソ兩軍間の激戰が續行されてゐるが、ベルリン……

……スターリングラード西南方地區の獨羅兩軍は數個部隊に分れここに獨立作戰を展開、赤軍の頑强な抵抗を排して戰略的重要高地數地點を占領した結果ドン河灣曲部に於て楔を打込んだ赤軍數個部隊は退路を遮斷され逆に包圍殲滅の運命に陷つた

一、スターリングラード南方地區において數的優勢を恃みとして獨軍防衛陣地に楔を打込んだ赤軍は、廿四日さらに若干進出するに成功したが、スターリングラード、クラスノダール鐵道を奪回するには至つてをらず、獨羅兩軍は西部戰線から續々兵力を增强し一停車場を除き依然全線を手中に確保してゐる、獨空軍は廿四日夕刻までに果敢な低空銃爆擊で赤軍戰車六十九台ならびに軍隊を滿載した輸送車多數を擱坐炎上せしめた

獨軍自信滿々

【ベルリン廿四日同盟】赤軍の所謂冬季反攻に關聯しドイツ軍當局筋は二十四日夜つぎのごとき意向を表明した

赤軍はしきりに冬季反攻を宣傳しスターリングラード市の南方のカロムイリ高原地帶に向け大規模な反攻を開始、さらにスターリングラード市の北方で鉄狀作戰を企圖しこの一戰に一切を賭してゐるらしいが、常にドイツ軍は過去一年有半にわたりソ聯領內の各戰線で赫々たる戰果を收めてゐるから赤軍の反攻作戰に對しても不動の確信をもつて情勢の推移を靜觀してゐる次第だ

獨空軍活躍

【ベルリン廿四日同盟】ドイツ軍當局は廿四日獨空軍の新戰果に關し左の如く發表した

西北中海方面に活躍中の獨空軍は廿二日夜敵の驅逐艦に數個の爆彈を命中させてこれを大破させたほか二萬トン級の豪華船および五千トン級の輸送船にもそれぞれ爆彈を命中これに大損害を與へた

閣議決定の法案要綱

……船舶保險法案要綱……自動車交通事業法中改正法律……に關する法律案要綱……保險法中改正法律案要綱……事扶助法中改正法律案要綱……時資金調整法中改正法律案……商工會議所改正法律案要綱……行政施行地域における……の事務處理に關する法律案……日本產金振興株式會社法中改正法律案要綱

【ベルン……】スイス政府は……空……を侵犯したて……つきロンドン駐劄公使を通じ……政府に對し嚴重抗議した

辭令(二十四日)
命神戶稅關監視部長心得 稅關書記官神戶 石原 次郎

開戰一周年…戰跡に立ちて
アンボン

赤道直下、わが至妙な陸海の精鋭が肉彈突擊を敢行してアンボンに感激の日章旗を飜してから早くも一年近い歲月が經過した、アンボンこそは米英蘭の聯合軍が蘭印、濠洲の前衞基地として多くをたのむ軍事上の要衝であつた、しかし皇軍の精銳はまことに鎧袖一觸の概を以てこの島を占領した、だがその華々しい戰果のかげには又壯烈鬼神を哭かしむる部隊將兵の散華があつたことを吾々は銘記しなければならない、島陰のつゝましい墓前には皇軍の德を慕ふ住民の供物が絕えないが島內の復興につれて雄々しくも南進した我がタイピスト孃たちが先づ額づいて感謝の誠と心をこめた生花を捧げるのもこゝである【寫眞＝アンボン攻略戰に散華した勇士の墓碑にお參りする南進民政部のタイピスト孃】

西印度問題に
佛政府不滿表明

【ビシー廿四日同盟】ペタン主席は廿四日プレービー府相、蘭領總監ルネ・プスケ氏らを招致、何事か協議を遂げた、西印度諸島等の新協定についてはフランス政府當局では未だ確報に接しないが、ロベール提督は事前に何ら打合せを遂げなかつたと明かに不滿を表明してゐる

米海員の損
失二千餘名

【ブエノスアイレス廿四日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省はこのほど昨年九月廿七日より今年八月一日までの間に各海洋上で樞軸國海空軍のため擊沈破された商船乘組員の損失を左の通り發表した

死者四百十名▲行方不明一千八百九十一名▲計二千三百一名

第二豫備金支出

【東京電話】政府は二十五日左の如く昭和十七年度第二豫備金支出を決定した(單位千円)

▲大藏省所管
一、臨時東亞經濟懇談會補助 八〇
一、小額紙幣製造費補助 七〇〇
▲農林省所管
一、萬國農事協會費分擔金 五〇
▲商工省所管
一、貿易振興施設補助費 一、〇〇〇
一、重要物資補塡緊急研究費 二〇〇
▲厚生省所管
一、職業輔導施設費 四四一
一、國民勤勞訓練諸費 一、七一四

消息

◇村上義一氏(朝運社長)廿八日朝入城
◇福島敏行氏(同監查役)廿六日『あかつき』で入城
◇小林源次郎氏(被服工業理事長)廿五日內地へ、廿八日歸城豫定
◇金川武郎氏(大東商業校長)新任挨拶のため廿五日來社
◇佐藤武雄氏(城大教授)廿五日『あかつき』で歸城
◇渡邊信治氏(前京城師範校長)同入城
◇柳原德氏(柳韓洋行社長)東上中廿五日『あかつき』にて歸城

時の錄音

議會提出重要法律案卅二件を決定。

×

閣議實に九時間に及ぶと、政府の熱意を買ふ。

×

日滿華科學技術聯絡會今明日東京に開催。

×

科學技術の共榮圈交流こそ生產增進の鍵だ。

×

來栖大使あす歸朝第一聲。聽くべし。

×

日米交涉の眞相は即ち米の謀略史だ。

×

今こそ、堂々世界に向つて米の假面をはぎとれ。